

食支援つうしん

—新宿食支援研究会通信—

第2号 2015.2.1 発行

わたしが新食研の活動に参加をして数年がたちます。毎月の勉強会やグループ活動等に出席していつも感じるのは、そこにいるひとたちの主体性の高さです。

これまでも、多職種で集まる連絡会などに参加をしたことがあります。多職種連携とはよく耳にする言葉ですが、「連携している姿や形」にこだわり、それぞれの職種に対しては深く知ろうとせず、顔が見える関係作りをすることだけを目的にしているように思える団体もありました。

新食研では、お互いの仕事を知ることから始まり、それぞれの専門性、視点の違いをぶつけ合いながら、食支援に対して新しい価値を見つけていく姿勢が強く見えます。お互いを知るだけではなく、そこから何を創造していくかに価値を置いています。

そのためには、ただ参加して与えられた役割をこなすのではなく、主体性を持って未知の分野に挑戦していく姿勢が問われます。その成果を発信して、結果を出す場が新食研なのだとうわたしは感じています。

「ヘルパーWG」や「食べる☆デイ」など、介護の専門職がご利用者の「食べる」を支援するための知識等を磨く場があります。ご利用者にもっとも近いところで活躍している人たちをもっと多く巻き込み、新宿から始まる食支援の輪を広げていきたいと思えます。

(訪問介護員 木村 元彦)

口腔ケアで食べれる口作り

第2回 口腔ケアグッズについて

食べていない、失語などで発声していないなど口の機能が低下した人ほど唾液分泌が減るので自浄作用が低下し口腔内は汚れが溜まりやすくなっています。この汚れは食べカスのようにうがいでは取れないぬるぬるとした細菌の塊(バイオフィルム)のためブラシで擦り落とす必要があります。まず口の中を良く観察して汚れの付着した部分を確認します。歯や義歯だけでなく、舌・頬の内側・口蓋などの粘膜にも舌苔や痰、剥離上皮などが付着していることがあります。

『歯や義歯は歯ブラシで、粘膜は粘膜ブラシ』を使用します。うがいが出来ない場合は口腔ケア用ウェットティッシュなどを使い拭き取る

と良いでしょう。

*粘膜ブラシく左からスポンジブラシ、粘膜



ブラシ (くるりーな)、舌ブラシ 2本>

歯磨き剤は使用せずブラシを水で濡らし、水分をよく切ってケアしていきます。剥がれた細菌の混じった唾液が咽頭に垂れ込まないように吸引しながら磨いたり、口腔保湿剤を歯ブラシに付けて磨き汚れを保湿剤にからめる方法も効果的です。

(歯科衛生士 篠原 弓月)

地域における配食サービスの役割

栞原 哲也


高齢化率の上昇や高齢者のみの世帯が増加するなか、高齢者福祉施策には『高齢者が尊厳をもって暮らすこと』を確保することが最も重要であるとされています。たとえ介護が必要となってもその人らしい生活を維持し、可能な限り在宅で暮らせるサービスを構築する事が大切です。そこで高齢者の地域生活の維持・継続支援の役割を持つサービスの一つとして、配食サービスの役割を考えたいと思います。

高齢者の生活を維持・継続させる前提には、健康であることがまずあげられます。そして健康の維持に欠かすことができないのが栄養のバランスの取れた食事を摂ることで、しかし高齢期には身体機能の低下等の理由から、買物、献立、調理、後片付けなどの日常生活行為を自ら行うことが困難になる場合があります。このような場合、定期的に食事を届ける配食サービスは、高齢者にとって健康に暮らすという生活の基本を支えるものだと考えられます。また、配食サービスの役割は、単に食事を届けるだけにとどまりません。以下に、われわれの5つの役割を記します

1. 健康を維持するライフライン(生命線)
2. 定期的なコミュニケーションの確保に

**安否確認・安否報告も
お任せ下さい！**

配達時に安否確認を実施しています。通院やデイサービス等のご予定を事前にかがっていない場合でご不在のときは、配達終了後にご本人様に電話連絡をして、お弁当の受領確認をしています。それでも連絡がつかない場合はケアマネさんやご家族の方にお電話致します。



よる見守りや安否確認


3. 体調・病状・好みなどの個別ニーズに合わせたバランスの取れた食事の提供
4. 『認知症等の精神疾患の問題』『経済的問題』『社会的孤立』などの生活課題を把握する
5. 地域の連携による社会的孤立化の防止および介護予防

つまり、生活を構成する様々な側面に関わる機能をもつといえます。高齢者の地域での生活維持・継続を支援する方法として配食サービスの持つ役割は多様であり、また、そのサービス提供のあり方を検討していくことが重要になると考えています。

**お薬の準備が必要な方も
お任せ下さい。**

お薬カレンダーから取り出してお弁当の横に置く等、定期的に服用されているお薬の準備もお手伝い致します。

※医師の指示に基づき、ご依頼下さい。



第52回新食研勉強会のご案内

安全に食べる準備 ～呼吸～ 食べる前に吐く

講師：南島 大輔 (理学療法士)
日時：平成 27 年 2 月 14 日(土)
午後 6 時 30 分～午後 8 時 15 分
場所：東京在宅サービス
新宿区新宿 1-5-4YKB マイクガーデン 3 階
参加費：500 円
定員：約 70 名
申し込み先：
E-mail yoshiko.yfsg@rg8.so-net.ne.jp
FAX 03-5338-8837
担当；安田